



No.57

2025 April
[MISA会報 第57号]

- 賀詞交歓会
- MISA会員向けアンケート調査結果
- 委員会活動報告
- NEW「技術・製品情報」Part13
- 新入会員紹介

■発行／一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 仙台市青葉区上杉1-6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台5F 【TEL】022 (217) 3023 【FAX】022 (217) 3055 【E-mail】misa@misa.or.jp
■URL／<https://www.misa.or.jp> ■企画・編集／広報委員会 ■印刷／ハルウコミュニケーションズ株式会社



令和7年賀詞交歓会開催

会長挨拶

宮城県情報サービス産業協会（MISA）会長 **阿部 嘉男**



皆様、新年あけましておめでとうございます。MISA 会長の阿部でございます。本日は令和7年賀詞交歓会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

新しい年を皆様とこうして迎えられることを、心より嬉しく思います。昨年は能登半島地震や飛行機事故など、厳しい出来事が続きました。そのため、新年の挨拶でも「おめでとうございます」という言葉を控えましたが、今年は何とか穏やかに新年を迎えることができたのではないかと感じております。

本日は、宮城県、仙台市、東北経済産業局をはじめ、多くのご来賓の皆様にご臨席賜り、心より感謝申し上げます。また、日頃より MISA の活動にご理解・ご協力をいただいている会員の皆様と共に、新年を祝えることを大変嬉しく思います。

2025 年は国際情勢も依然として不安定です。昨日、ガザ地区の停戦合意がなされたものの、ロシア・ウクライナ戦争は 1,000 日を超えて継続しており、さらに来週にはアメリカで第 2 次トランプ政権が発足予定です。今年も波乱含みの年になるのではないかと感じております。

こうした状況の中で、私たち IT 業界も大きな変革の時を迎えています。昨年は生成 AI が大きな話題をさらい、私たちの業界にとっても無視できない存在となりました。今後、これをどのように活用し、ビジネスに組み込んでいくかが重要な課題となります。

MISA は来年、令和 8 年に設立 30 周年を迎えます。これまでの歩みを振り返ると、着実に成長し、歴史ある

団体となったことを実感しております。現在、第 9 次中期計画の最終年度を迎えており、重点施策として以下の 3 点に取り組んでいます。

1. 人材の確保と育成

IT 業界全体で深刻な人材不足が続いています。私たちも人材の確保・教育に注力し、業界の持続的発展に貢献していく必要があります。

2. 生成 AI・DX の推進

宮城県も DX 推進に力を入れており、私たちがどのように関与し、地域のデジタル化を支援できるかが問われています。

3. 地域課題への貢献

MISA として、地域社会の課題解決にどう関わっていくかを模索し、積極的に取り組んでまいります。

また、来年度以降は第 10 次中期計画の策定・実行にも取り組み、次のステージへ進んでいくことになります。

MISA は全国的に見ても規模の大きな情報サービス産業協会の一つであり、横浜、愛知に次ぐ会員数を誇っています。宮城県の IT 業界全体の売上規模は決して大きくはないものの、MISA の会員数は多く、他の業界団体からも視察や相談を受けるまでになりました。これは、先輩方の努力と、現在活動を支えてくださっている皆様のご尽力の賜物です。

結びにあたり、本年も皆様と共に発展していけることを願い、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



賀詞交歓会概要

新春恒例の賀詞交歓会が 1 月 16 日（木）、「TKP ガーデンシティ仙台」において、東北経済産業局、宮城県、仙台市、関係団体からのご来賓を含め、会員の皆様 250 名を超える出席者のもと、盛大に開催されました。

まず、協会を代表して阿部会長（SRA 東北）より新年の挨拶があり、その後、ご来賓の皆様からご祝辞をいただきました。続いて、委員会報告として、人財委員会の岡田委員長より活動報告が行われました。さらに、当協会がサポートしているマイスターハイスクールについて伊藤理事が紹介した後に、仙台工業高等学校の春日原校長よりご挨拶をいただきました。

乾杯は九萬原専務理事が発声し、懇談がスタート。今年の賀詞交歓会は、コロナウイルス感染拡大前の規模での開催となり、多くの会員の皆様にご参加いただきました。終始和やかな雰囲気の中、会員同士の情報交換や親睦を深める貴重な機会となりました。また、会の途中には、動画撮影のためにドローンが会場内を飛行し、その映像がスクリーンに映し出されるなど、懇親会をさらに盛り上げました。

締めくくりには、阿部理事（テクノマインド）が一本締めを行い、盛況のうちに閉会となりました。ご来賓の皆様、そして多くの会員の皆様にご出席いただきましたこと、心より御礼申し上げます。

来賓挨拶

宮城県企画部長 **武者 光明 様**



皆様、新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

本来であれば村井知事が出席する予定でしたが、都合により私が代理でご挨拶を申し上げます。新年を迎え、本日の賀詞交歓会が盛大に開催されますことを、心より喜び申し上げます。

昨年は、次世代放射光施設「ナノテラス」の本格運用が開始され、東北大学が国際卓越研究大学の第 1 号として正式認定されるなど、宮城の発展を期待させる明るいニュースがありました。一方で、年始の能登半島地震や記録的な猛暑、東北地方の大雨被害など、気候変動の影響を実感する一年でもありました。

近年、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進や IT ツールの導入が進み、業務効率化に取り組む企業が増加しています。また、生成 AI が私たちの生活やビジネスの中で身近な存在となりつつあります。

県では、人口減少・少子高齢化への対応、大規模化・多様化する自然災害への備えなど、さまざまな課題を抱える中、「DX による変革みやぎ」の実現を目指し、デジタル技術の活用に取り組んでおります。具体的には、デジタル身分証アプリの活用、防災対策、行政手続のオ

ンライン化・キャッシュレス化の推進、そして生成 AI を含む先端技術の活用に重点的に取り組んでいます。

特に「みやぎデジタル身分証」については、防災や行政サービスの利便性向上に向けた活用を進めており、その一環として「みやぎポイント」の導入を開始しました。県内約 1,300 店舗で利用が可能となっており、現在、1 月 25 日までの登録で 3,000 ポイントが当たるキャンペーンを実施中です。皆様にもぜひご登録いただき、より魅力的なサービスの創出にご協力いただければと思います。今後もミニアプリの充実を図り、防災機能の強化、県民サービスの向上、そして地域経済の活性化に寄与してまいります。

また、県としましても、宮城県情報サービス産業協会（MISA）および会員企業の皆様と連携しながら、人材の確保・育成をはじめ、さまざまな変化に対応できる未来志向の取り組みを推進していきたいと考えております。

結びに、貴協会ならびに本日まで出席の皆様にとって、本年が実り多き素晴らしい年となりますことを心よりご祈念申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

来賓挨拶

東北経済産業局地域経済部長 **古谷野 義之 様**



皆様、新年あけましておめでとうございます。ただいまご紹介にあずかりました、東北経済産業局地域経済部長の古谷野でございます。本日は、宮城県情報サービス産業協会の賀詞交歓会にお招きいただき、誠にありがとうございます。また、昨年はデジタル人材育成の取り組みにご尽力を賜り、重ねて御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、年始の能登半島地震をはじめ、台風や豪雨など、予期せぬ自然災害が相次ぎました。そのような困難の中でも、皆様が前を向いて努力を続けられたことに敬意を表します。そして、この場をお借りして、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。世界情勢が大きく変動する中で、日本の経済と社会の安定をどのように維持していくのが問われた一年でもありました。国内では、全国の設備投資額が100兆円を超え、33年ぶりとなる高い賃上げ率が実現されました。日本経済は、長らく続いたコストカット型の経営から脱却し、デフレに戻らないよう、賃上げと投資による成長型経済への転換が求められています。物価高に負けない持続的な賃上げを実現し、それを消費拡大につなげていくことが重要となります。

東北地域に目を向けると、全国と比べて少子高齢化や人口減少が深刻であり、若者や女性の首都圏への流出、経営者の高齢化、事業承継の課題などが地域社会の持続可能性に影響を与えています。東北経済産業局としても、こうした課題を踏まえ、重点施策に全力で取り組んでまいります。

第1に、良質な雇用を確保するため、地域の魅力を高めながら、投資を牽引する産業を活性化し、持続可能な発展を目指します。また、DXの推進によって生産性の向上を図るとともに、エネルギーの安定供給を確保してまいります。さらに、産学官の連携を強化し、人材育成、サプライチェーンの強化、産業インフラの整備を進めて

いきます。

第2に、地域の成長を支える中堅・中小企業の成長促進も重要な課題です。雇用の吸収力を高めつつ、大幅な賃上げを実現するため、新事業や事業再編、海外展開、大規模な設備投資などを支援するとともに、スタートアップ支援を強化し、外国人人材の活用にも取り組みます。

第3に、経営環境の変化に対応する力を高めるため、事業承継支援や跡継ぎの育成、事業継続力の強化を進めていきます。加えて、地域の実情に応じたDXの導入支援や、価格交渉・価格転嫁の促進にも取り組み、沿岸地域および福島復興、自然災害への対応を強化してまいります。

特にDXの推進は、人口減少のスピードが速い東北地域において、極めて重要な課題です。地域経済全体の成長を実現するためには、生産年齢人口の減少を補いながら、中堅・中小企業の競争力を強化し、売上や利益を向上させていくことが不可欠です。テクノロジーを活用した飛躍的な生産性向上や、新たなサービス・ビジネスモデルの展開によって、真のDXを実現することが求められています。そのためには、皆様の役割がますます重要になってまいります。新たなソリューションの創出が地域経済、さらには日本全体の発展につながることを期待しております。

今年4月から、大阪・関西万博が開催されます。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、世界中の来場者を迎え、未来社会の実験場として最先端技術を発信し、社会実装を進める場となります。経済界の皆様にも多大なご協力をいただいておりますが、ぜひこの一大国際イベントを共に盛り上げていきたいと考えております。

結びに、宮城県情報サービス産業協会の皆様のご発展を心より祈念申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

来賓挨拶

仙台市経済局長 **木村 賢治 様**



皆様、新年あけましておめでとうございます。仙台市経済局長の木村でございます。本日は、宮城県情報サービス産業協会（MISA）の賀詞交歓会にお招きいただき、誠にありがとうございます。また、このように盛大に開催されますことを、心より喜び申し上げます。

会員の皆様には、日頃より本市および宮城県のサービス産業の振興・発展にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。改めて敬意を表するとともに、厚く御礼申し上げます。

私たちの生活を取り巻く環境は、政治、経済、気象など、あらゆる面で目まぐるしく変化しており、先を見通すことがますます難しくなっています。そのような中、ITやICTはすでに生活の一部となり、特別に意識されることも少なくなってきました。今やスマートフォンは単なる携帯電話ではなく、通話もできる「携帯パソコン」といえるほどの存在になっています。こうした技術を、特別な知識や能力がなくても誰もが活用できる形にしていくことが、今後の重要な課題であると考えております。

近年、半導体関連の話題がニュースでも頻繁に取り上げられていますが、多くはハードウェアや製造技術に関するものです。しかし、どれほど高性能な半導体が開発されても、それを活かすソフトウェアがなければ本来の性能を発揮できません。また、どのように活用するかというシステム設計も極めて重要です。この点については、一般的にあまり知られていない部分も多く、適切な情報発信が求められています。



もう一つ、大きな課題として「人材不足」が挙げられます。先ほどMISAの阿部会長からお話がありましたが、IT業界では特に次世代を育成することが急務となっています。若い世代が科学技術に触れ、将来のキャリアの選択肢としてIT分野を考えられるような環境を整えることが大切です。そのためには、幼少期からの教育機会の充実が不可欠であり、市としても積極的に取り組んでまいります。

MISAの皆様のご協力のもと進めております「マイスター・ハイスクール」事業の一環として、市立仙台工業高校では、令和7年度より情報科を新設する運びとなりました。これもひとえに、MISA会員の皆様のご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

昨年もさまざまな出来事がありましたが、仙台市としては引き続き、半導体関連産業を中心とした企業誘致に注力してまいります。地元MISAのような強固なネットワークを持つ団体があることは、大きな強みであり、産業振興においても非常に心強い存在です。今後も、MISAの皆様と連携を深めながら、IT人材の育成・定着、さらなる産業集積に向けた取り組みを進めてまいりますので、引き続きご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、MISAのますますのご発展と、本日ご参会の皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



MISA 会員向けアンケート調査結果について(2024年度)

情報サービス産業を取り巻く環境は、デジタル技術の進展により、生成AIやDX（デジタルインフォメーション）の活用が急速に拡大し、ビジネスそのものや経営環境が大きく変化しつつあります。このような状況の中、MISAでは、会員各社の現状やニーズを把握するため、毎年定期的にアンケート調査を実施しています。今回は116社（前年度135社）から回答をいただきました。

なお、本結果は全調査の中から抜粋して掲載しているので、詳細はMISAホームページを参照下さい。

（<https://www.misa.or.jp>、本報告の設問番号は全調査の設問番号を使用）

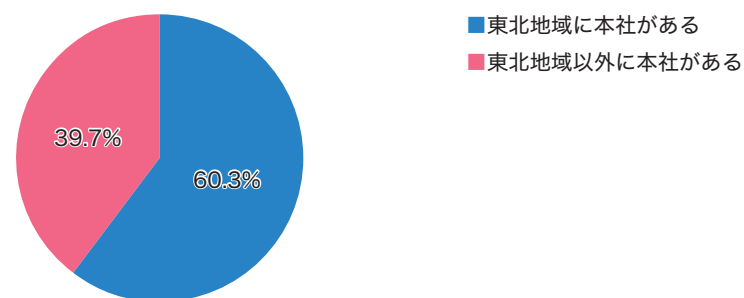
1. 調査期間：令和6年10月7日～31日
2. 目的：会員状況の定点観測、MISA関連事業への反映、施策の整合確認、活動推進に活用
3. 対象企業：MISA会員 正会員企業
4. 調査方法：アンケートフォーム（Google）や紙（Excel）による報告

5. 調査結果（概要）：

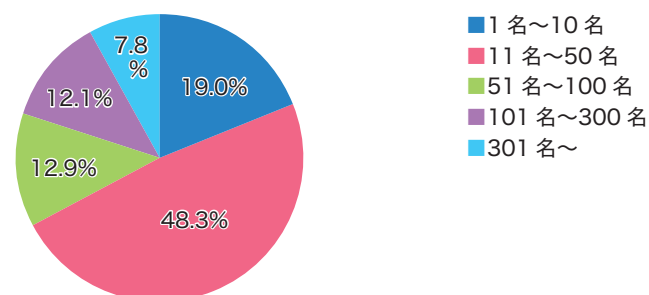
（1）事業所の概要（ほぼ前年どおり）

- ・東北地域に本社がある企業が60％強。前年より多少増。
- ・従業員が50名以下の企業は70％弱。前年と同じ。

設問 1-1 貴事業所の本社所在地を回答下さい。
116 件の回答

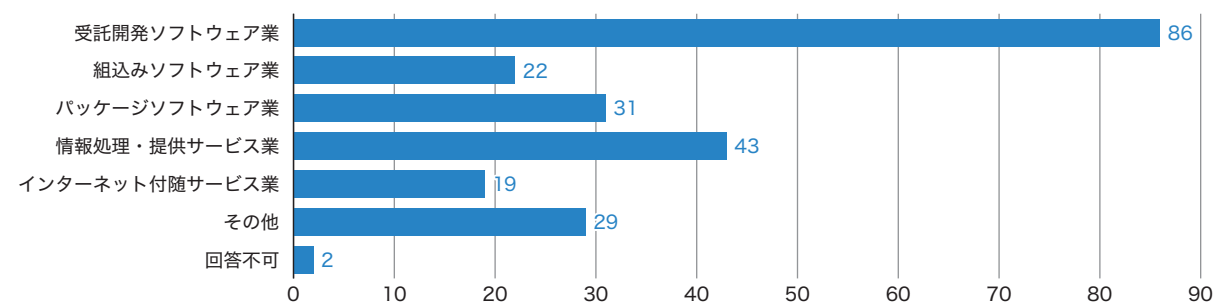


設問 1-3 貴事業所の従業員数(正社員数)を回答下さい。
116 件の回答

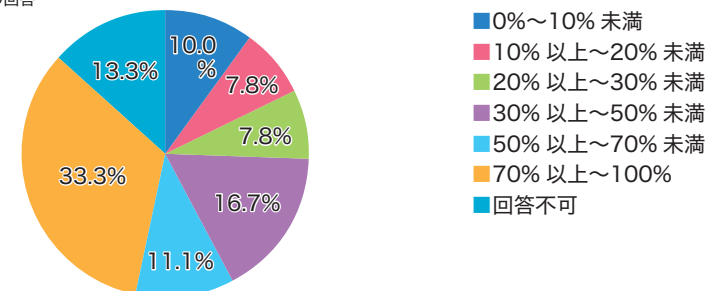


- ・会員の業種は、顧客の委託によるソフトウェア作成を行う「受託開発ソフトウェア業」が最も多い。（約75％）
- ・「受託開発ソフトウェア業」が50％以上の企業が44％である。

設問 1-4-1 貴事業所の業種を全て回答下さい。
232 件の回答



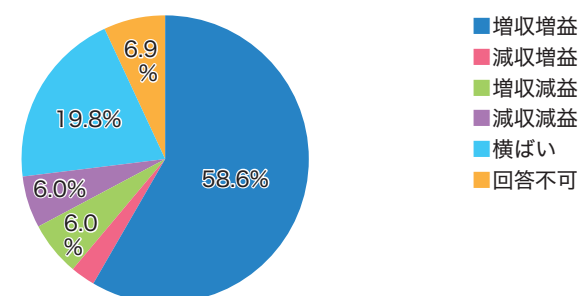
設問 1-4-3 【設問 1-4-1】で「受託開発ソフトウェア業」を選択時、売上割合を回答下さい。
90 件の回答



（2）業績（売上高の増減率）

- ・「増収増益」との回答は、昨年51％、今年度58％。好調が継続している企業が多い。

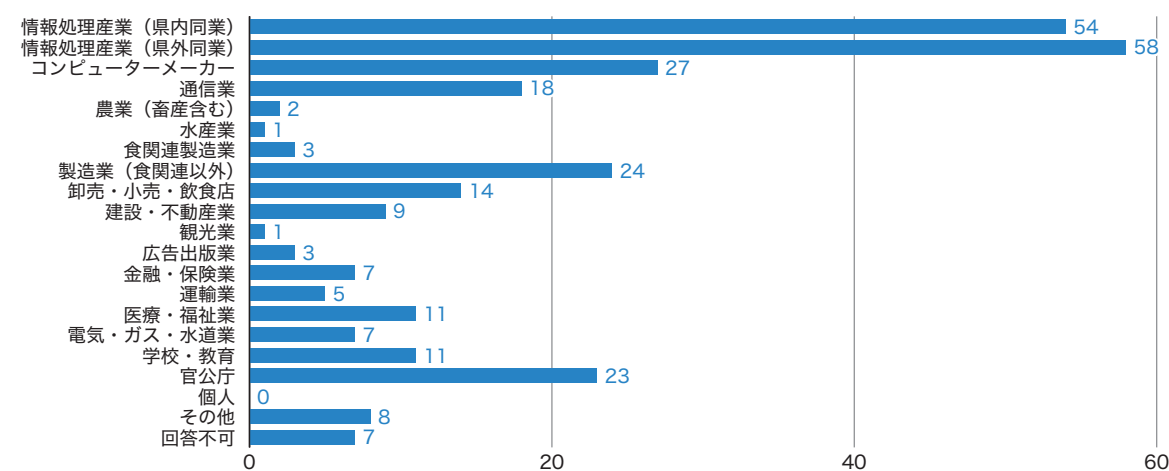
設問 2-2 貴事業所の前年度と前々年度を比較した前年度の売上高の増減率を回答下さい。
116 件の回答



（3）経営課題・成長戦略等

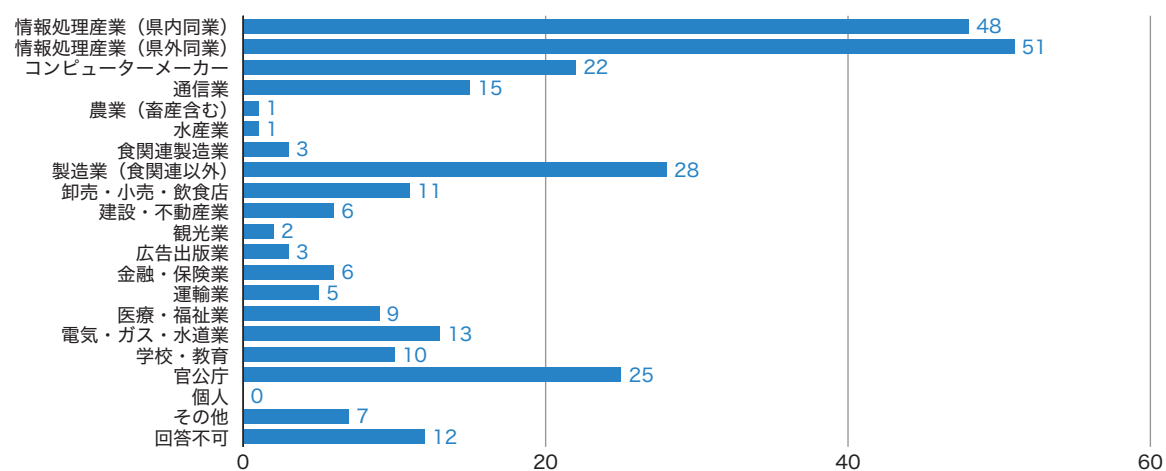
- ・主要な取引先は、同業者間（情報処理産業（県内、県外））が多い。（昨年と同じ）
- ・今後注力予定（拡大予定）取引先についても、同業者間（情報処理産業）が断然多い。（前年と同じ）

設問 4-1-1 貴事業所の主要な取引先の業種、売上額上位3つまで回答下さい。
116 件の回答



設問 4-2-1 貴事業所が今後注力予定（拡大予定）取引先の業種、上位3つまで回答下さい。

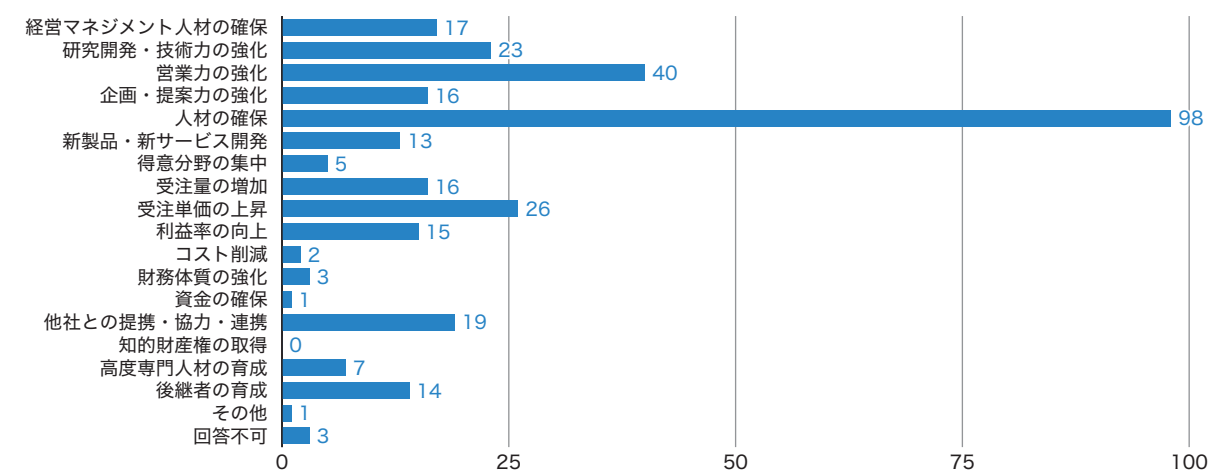
116 件の回答



- ・現在抱えている経営課題は、「人材確保」が圧倒的に多い。さらに「営業力の強化」「技術力の強化」などが続く。（前年度と同じ）

設問 4-6-1 貴事業所の現在の経営課題、上位3つまでを回答下さい。

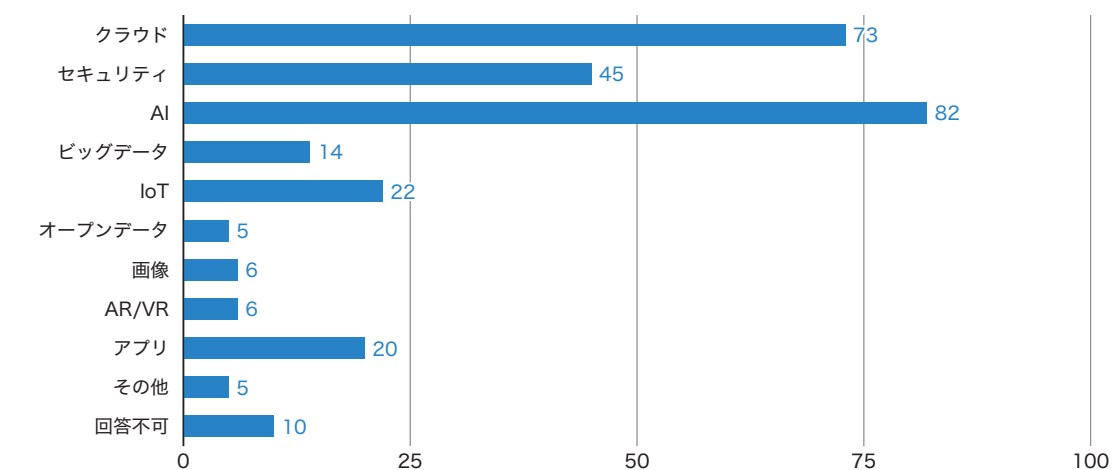
116 件の回答



- ・注目している分野は、昨年度は「クラウド」が最も多かったが、今年度は「AI」分野への関心が最も高い結果となった。（傾向については、前年と同じ）

設問 4-7-1 貴事業所で注目している分野、テーマ等を3つまで回答下さい。

116 件の回答

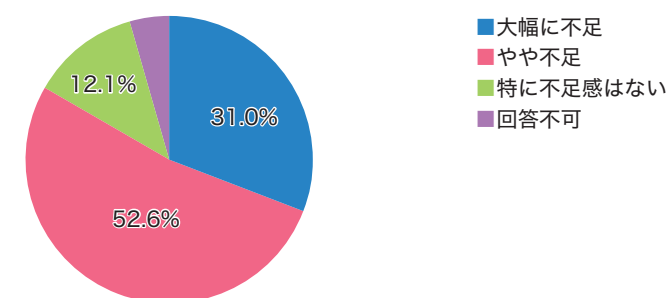


（4）雇用・人材、採用

- ・人材不足感は、「やや不足」と回答した企業の割合が53%と最も多く、「大幅に不足」と合わせとおおよそ84%の企業が感じている。（前年以上）

設問 5-1 貴事業所において、人材の不足感がありますか。

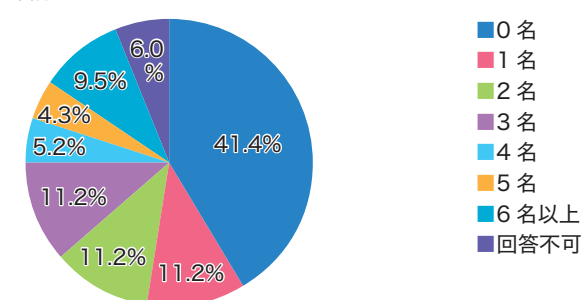
116 件の回答



- ・今年度の新規採用は技術系で採用できない（0名）企業が41.4%、採用できた企業でも3名以下の企業が多い。事務系でも採用できない企業がほとんどである（85.3%）。
- ・技術系や事務系の中途採用者も、ほとんどの企業は採用ができていない。（アンケート本文参照）

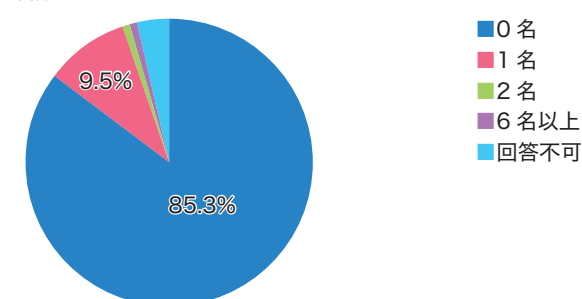
設問 6-1 今年度、県内での技術系の新規採用は何名でしたか。

116 件の回答



設問 6-2 今年度、県内での事務系の新規採用は何名でしたか。

116 件の回答



生成 AI セミナー

事業共創
委員会

事業共創委員会では、昨年度に続き、今年度も生成AIなどの先端技術に関するセミナーを開催しました。

- ・2024年7月30日：佐々木陽先生「生成系AI x Roboticsで起きる新しい産業構造」
- ・2024年10月24日：藤本浩司先生「ブロックチェーン・イントロダクション～中心も管理者もいない分散型の社会『Web3』とは～」
- ・2025年2月5日：柿沼太一弁護士「業務で生成AIを活用する際の法的留意点～基礎から実践まで～」

今号では柿沼太一先生の講演内容についての概要を紹介します。

生成AIの活用が進む中で、企業が直面する法的リスクも増大し、今回の講演では、**著作権、個人情報保護、機密情報管理**の三つの観点から、企業がどのように対応すべきかが整理されました。

著作権：著作権の問題では、AIの学習に著作物を利用すること自体は適法である一方、学習データがそのまま出力されるケースや、特定のキャラクターや作品の特徴的な表現を意図的に模倣する場合には著作権侵害となる可能性があることが指摘されました。



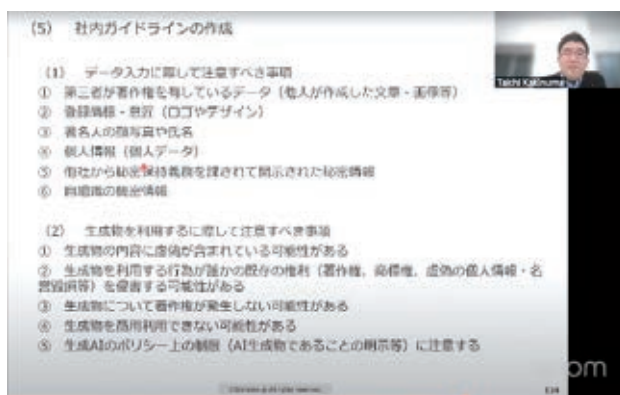
個人情報保護：個人情報の取り扱いに関しては、特に海外の生成AIサービスを利用する際のリスクが強調されました。利用規約を十分に確認する必要があります。



機密情報管理：企業の営業秘密が外部の生成AIに入力されると、不正競争防止法による保護が受けられなくなる可能性がある点が強調されました。AIサービスの利用規約に「入力データを学習に利用する」と明記されている場合、NDA違反につながるリスクもあり、慎重な運用が求められます。

企業がリスクを回避して生成AIを活用するためには、社内ガイドラインの策定、利用環境の選択、契約や利用規約の確認が不可欠です。ガイドラインを整備することで、利便性と安全性のバランスを考慮した運用が可能となります。

まとめ：生成AIを業務で活用するには技術的な理解だけでなく、法的リスクを正しく認識することが不可欠と改めて実感しました。会員企業の皆様にも、実務に直結する有益な内容だったのではないかと感じました。



プライム会員企業様向け 情報交換会開催

ビジネス
推進委員会

令和6年4月18日（木）TKPガーデンシティ PREMIUM 仙台西口カンファレンスルームにて、令和6年第1回ビジネス推進委員会によるプライム会員企業様向け情報交換会を開催し、「株式会社高速」様からMISAのプライム会員企業様へ商談情報等をご共有いただきました。

「株式会社高速」様は昭和41年創業の仙台に本社を置く包装資材専門商社で特に食品軽包装資材（スーパーやコンビニエンスストアで目にする食品をトレーやフィルムで包む「プリパッケージ」）卸売では国内トップを誇っておられます。現在では包装資材のみならず、チラシやラベルなどの販売促進ツールのご提案や包装に関連する機械販売など幅広い業務を展開されており、全国に広がる営業拠点を活用したネットワークも大きな特色と言えます。

当日はプライム会員企業19社およびスタッフ含め総勢35名のご参加誠にありがとうございました。

引き続きMISAのプライム会員企業様へ有意義な情報を提供すべく活動をしてまいります。



主催者あいさつ
ビジネス推進委員会 星 孝志委員長



東北電力グループ

I T で、
感動を、
ともに。

私たちTOINX（トイックス）は、
ITで実現する新たな価値を
社会に広げ続けます。

ともに手を取りあい、
どんな時も誰よりも近くで、
しっかりと支え、キッチリ守ります。

さらに、一歩踏み込んだ提案をし、
期待をこえる感動を届けます。

株式会社トイックス

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央二丁目9番10号 セントレ東北

TEL 022-799-5555 FAX 022-799-5561

委員会報告

『ICTカンファレンス 2025』開催

グローバル
ビジネス
委員会

グローバルビジネス委員会は『行政DXとガバメントクラウド』をテーマに多くの皆様のご協力のもと、「ICTカンファレンス2025」を3月17日（月）に開催しました。

パネリストのスケジュール調整などで、計画・準備期間から開催まで非常にタイトなスケジュールであったにも関わらず、91名の参加で、会場も殆ど満席となりました。

利府町長の熊谷さまをはじめ、デジタル庁、総務省、宮城県、仙台市など行政に関わる重要機関の皆様や、(株)NTTデータ東北、さくらインターネット(株)など近年のIT企業を代表する皆様など、豪華絢爛な講師陣をお迎えし、行政のDXやガバメントクラウドについて大変貴重なご講演を賜りました。

参加したMISA会員をはじめとする多くの皆様からも、非常に好意的なご意見を多数頂戴し、イベントは大盛況のうちに終了しました。

イベント終了後、別会場（Route 227s' cafe）にて行われた名刺交換会にも多くの方にご参加いただき、登壇者、参加者ともに有益な交流が盛んにおこなわれるなど、大変有意義なイベントになりました。



■基調講演

- 「開会のご挨拶」
講師：一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 会長 阿部 嘉男 様
- 「行政DXについて」(仮)
講師：総務省 自治行政局地域DX推進室 行政経営支援室 課長補佐 田邊 樹 様
- 「DXを活用した地域の社会課題解決」
講師：株式会社NTTデータ東北 デジタルトランスフォーメーションオフィス 部長 相場 映希 様
- 「ガバメントクラウドについて」(仮)
講師：デジタル庁 Chief Cloud Officer 山本 教仁 様
- 「DXにおけるセキュリティリスクとデジタルガバメントの取組」
講師：さくらインターネット株式会社 執行役員 横田 真俊 様

■パネルディスカッション

- 「利府町におけるDXの現状と今後の目標」
講師：元参議院議員／現 利府町長 熊谷 大 様
- 「宮城県、仙台市等地元自治体のDXの取り組みと展望」
- 「デジタルガバメントと行政のDX」
モデレーター：株式会社Sola.com 代表取締役 高橋 洋人 様
パネリスト：総務省 自治行政局地域DX推進室 行政経営支援室 課長補佐 田邊 樹 様
デジタル庁 Chief Cloud Officer 山本 教仁 様
元参議院議員／現 利府町長 熊谷 大 様
宮城県 企画部 デジタルみやぎ推進課 課長 橋本 崇 様
仙台市 経済局 イノベーション推進部 部長 白岩 靖史 様
株式会社NTTデータ東北 デジタルトランスフォーメーションオフィス 部長 相場 映希 様
さくらインターネット株式会社 執行役員 横田 真俊 様

委員会報告

第21回MISA会長杯フットサル秋大会

福利厚生
委員会

第21回MISA会長杯フットサル秋大会を10月27日（日）MIFA Football Park Sendaiで開催しました。初参加チーム含め、参加16チーム総勢170名と活気のある大会となりました。

結果は、(株)テレコムリサーチが初戦から決勝まで負けなしでの2連覇優勝を果たしました。

試合後は恒例のお楽しみ豪華抽選会、参加全チームでの集合写真を撮影し、盛況のうちに大会を終えることができました。

ご参加いただいた皆様、応援に来ていただいた皆様、ありがとうございました。

引続き皆様が安心・安全にお楽しみ頂ける楽しい大会となるよう委員会一同趣向を凝らして参ります。

次回は7月に夏大会を予定しております。ぜひ多くのチームの参加申し込みをお待ちしております。



優勝チームの(株)テレコムリサーチ

【トーナメント結果】

●上位リーグ

優 勝 (株)テレコムリサーチ
準 優 勝 (株)トインクス
3位入賞 SCSK Minoriソリューションズ(株)

●下位リーグ

優 勝 (株)NTTデータ東北



試合後は抽選の景品と一緒に全員で仲良く「はい、チーズ♪」

SJC in Your Town

あなたの街のあちこちに、SJCのITソリューション。

SJCは、全国各地のさまざまな場所、さまざまな分野でITソリューションを提供しています。
SJCのサービスが、あなたの暮らしをちょっと便利に、豊かにしているかもしれません。

株式会社 SJC www.sjc-sendai.co.jp

委員会報告

第47回 MISA 親睦ゴルフ大会

経営委員会

■開催日：2024年10月19日（土）

■場 所：西仙台カントリークラブ

第47回MISA親睦ゴルフ大会は、11組41名（内、初参加6名）にて、宮城の名門「西仙台カントリークラブ」にて開催しました。

当日は、日差しが強く暑い中でのスタートとなり、半袖、短パンでプレーする方もいらっしゃいました。午後は、心配していた雨も一時的な軽雨で傘をさすこともなく、皆さん、日頃の腕前を競い合い和気あいあいと会員間の親睦を深めるゴルフ大会となりました。

【成 績】（敬称略）

●個人戦 NET HC

優 勝：中嶋 巖（71.2）（28.8）（株）ナナイロ

準優勝：佐藤 道昭（72.2）（16.8）（株）NTTデータ東北

第3位：大森 清視（72.2）（22.8）（株）アルファビジョン

第4位：菊田 明洋（73.0）（12.0）（株）ソフトエイジ

第5位：遠藤 篤識（73.8）（25.2）（株）トインクス

BG(85)：菊田 明洋 （株）ソフトエイジ

●団体戦（上位3名のNET合計）

NET合計

優 勝：菊田 明洋、遠藤 篤識、菊地 一宏、鈴木 勲 （221.6）

準優勝：佐藤 道昭、九萬原 敏巳、佐藤 英夫、熱海 早 （228.2）

第3位：中嶋 巖、穴沢 芳郎、山下 悟史、三浦 哲志 （228.2）



MISAフォトコンテスト結果報告

MISA会報 第57号フォトコンテストに、会員16名38作品のご応募をいただきました。テーマ：「宮城の〇〇」とし、グランプリ、準グランプリ2作品と佳作12作品が決定いたしました。グランプリ作品には商品券、準グランプリ作品と佳作にはQUOカードがそれぞれ贈呈されます。

表紙に掲載
グランプリ
メタセコイア
並木の紅葉
 (株)SJC 庄子 幸太郎 様

準
グランプリ

早春の蔵王連峰
 (株)アジェンタST
 遊佐 俊彦 様



連日大盛況
 金蛇水神社 雛飾り
 (株)ビッツ
 北村 豊 様

佳 作
(順不同)

大河原の水鳥たち	システムニコル(株)	田代 紀生 様	宮城の秋旅①	(株)インターコムR&Dセンター	鈴木 貴 様
樹氷の静寂	日立Astemo仙台(株)	衣袋 直哉 様	白石川より一目千本桜	日立Astemo仙台(株)	萱場 史成 様
閑上の夜明け	アド・エータイブ(株)	小野 昌幸 様	宮城の玄関	日立Astemo仙台(株)	奥山 昂 様
セイコウ大橋	アド・エータイブ(株)	菅原 涼 様	春の陽射しの中で2	(株)トインクス	作間 陽一 様
久しぶりの松島や	(株)アートシステム	鳥澤 強志 様	名取市ゆりあげ港朝市の朝	(株)フジビジネスセンター	鹿野又 寛 様
仙台西公園桜	(株)アートシステム	鹿目 仁 様			
紅葉を見上げて	(株)アートシステム	菅原 壮浩 様			

※受賞作品はMISAホームページに掲載

MISA
Miyagi Information Service Industry Association

会員企業

NEW

技術・製品情報 Part13

感性に訴えかける新事業 ～レーザーカットによる商品開発について～

弊社は創業が昭和11年の老舗印刷会社ですが、2022年に新事業としてレーザーカットマシンを導入し、付加価値の高い新事業に取り組んでおります。レーザーカットマシン自体は、金属をカットするもの、木材をカットするものなど世の中には様々な種類のものが存在しますが、弊社が導入したのは紙専用のものです。このマシンを使って、これまで無かったような高付加価値の商品開発に取り組んでおります。

弊社では、この事業で目指す商品を5つのカテゴリーに分けております。一つ目は御朱印カテゴリーです。ご存じの通り、御朱印集めは一つのブームとなっており、神社仏閣巡りを楽しんでいる方々も多いのですが、近年注目を集め出しているのが「切り絵御朱印」と呼ばれるレーザーで精緻にカットされた美しい御朱印です。インスタ映えするところも人気となっております。弊社でも宮城県内の神社様などの御朱印を手掛けさせていただいております。

二つ目のカテゴリーはブライダルカテゴリーです。式場の入口に飾るウェルカムボードをレーザーカット技術を駆使して制作しております。三つ目のカテゴリーはプロモーションカテゴリーです。これは企業のブランド力を更に向上させるためのツールとして、レーザーカットで作られた美しいタグを商品に付けたり、インパクトの強いショップカードをデザインしたりしております。レーザーカット名刺も非常に人気です。四つ目としては、オリジナルカテゴリーとして自社商品の開発・販売です。特にインバウンド客をターゲットとした商品開発に力を入れております。最後はテーブルウェアカテゴリーです。ランチョンマットやコースターなど、これまで無かったような美しい紙製品を提供しております。

プロモーションカテゴリーの
ツールサンプル

いくらデジタル社会が進展しても、人間がアナログの存在である限り、紙の質感や風合いといった部分を活かした付加価値の高い商品が今後ますます求められていくと確信しております。弊社では、これまで培ってきた紙の分野にこだわりを持ちながら、商品開発力やデザイン力を高めていきたいと考えております。

ハリウコミュニケーションズ株式会社
 (E-mail: info@zundanet.co.jp)



アベタイザー用のランチョンマット

和柄の組子を元にデザインされた
ランチョンマット

会 員 異 動 状 況 (令和6年10月1日以降の入会関係)

正会員-入会

賛助会員-入会

会員数(正会員……198社 賛助会員……41社)

入会日	会員名(代表者名)	住 所 TEL・FAX
10月1日	(株)YCC 情報システム (仙台支社長 高橋 正行)	〒980-0811 仙台市青葉区一番町 1-1-31 TEL 022-387-6124 FAX 022-397-6125
10月25日	(株)ウィズグロース (代表取締役社長 小田川 潤)	〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-2-30 TEL 080-8041-9569
11月11日	(合)デュナミス (代表社員 土佐 雅人)	〒981-0913 仙台市青葉区昭和町 4-9-307 TEL 022-343-1154
12月16日	(株)K-SOCKET (代表取締役 橋浦 隆一)	〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町 2-10 TEL 022-745-2131 FAX 022-288-0138
3月10日	(株)両毛システムズ (所長 吉田 直樹)	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡 4-2-3 MT ビル 17F TEL 022-292-2901 FAX 022-292-2903
3月21日	(株)エル・ティー・エス ソフトウェアテクノロジー (代表取締役社長 塚原 厚)	〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-12-12 GM ビル 8F TEL 022-723-8895 FAX 022-723-8896
3月21日	(株)テクノ東北 (デジタル推進本部 本部長 上野 篤史)	〒980-0803 仙台市青葉区国分町 3-4-33 仙台定禅寺ビル TEL 022-706-4510 FAX 022-706-4511
4月1日	(株)クロスルートコンサルティング (代表取締役 高木 順)	〒980-0802 仙台市青葉区二日町 2-17-29 菊田ビル 2F TEL 022-398-8022
4月10日	(株)第一コンピュータサービス (仙台営業所 所長 佐藤 正)	〒980-0021 仙台市青葉区中央 4-10-3 JMF ビル 13F TEL 022-393-6752 FAX 022-393-6753
10月1日	(一社)東京都情報産業協会 (会長 高梨 輝彦)	〒104-0033 東京都中央区新川 1-27-8 新川大原ビル 5F TEL 03-6222-9080 FAX 03-6222-9081
11月26日	(株)トークネット (代表取締役社長 紀野國 文康)	〒980-0811 仙台市青葉区一番町 3-7-1 電力ビル TEL 022-799-4201
2月14日	東洋ワーク (株) (代表取締役社長 菅原 正秀)	〒980-0803 仙台市青葉区国分町 1-7-18 東洋ワークビル TEL 022-225-5052 FAX 022-224-3429
		(敬称略)

MISA 第14回通常総会 開催のご案内

●開催日時：令和7年6月12日(木)

●会 場：TKP ガーデンシティ仙台 (AER)

通常総会：14:00～15:30

講演会：15:40～16:50

交流会：17:10～19:00

編 集 後 記

今年の冬は例年より寒く感じられ、春、特に桜の開花を心待ちにしていた方も多いのではないのでしょうか。桜の季節とともに、新たな気持ちで新年度を迎え、新しいことに挑戦したいものです。

さて、令和6年度は、例年実施している賀詞交歓会での技術講演会を取りやめ、東北地域情報サービス産業懇話会(TISA)と共催で、2月に業界動向セミナーを開催しました。

経済産業省の情報政策についてお話を伺うとともに、令和6年度の「TOHOKU DX 大賞 2024」優秀賞2件について、受賞各社の方々にご講演いただきました。講演終了後の交流懇親会には、MISA 会員以外の東北地域の情産協の方も含め、70名以上の方々が参加し、業界動向について意見を交換し、和気あいあいと懇親を深めました。

(事務局 K)

セミナー内容

日 時：2025年2月19日(水)

会 場：江陽グランドホテル

(第1部)「経済産業省における情報政策の概要について」
東北経済産業局 情報政策・半導体戦略室長

井元 尚允 様

(第2部) TOHOKU DX 大賞優秀賞講演会

・内製AI「連携名人」と生成AIを組み合わせた連携DXによる業務効率化

産業技術総合研究所 東北センター 総括主幹

増田 善雄 様

・DX推進×人材育成のダブルエンジン！伴奏支援サービス「Digbiz」

(株)ブレイノベーション 代表取締役

菅家 元志 様

※詳細はTISAホームページ参照：

<https://www.tohoku-isa.net>